

日本国憲法 教育基本法 新学習指導要領
 埼玉教育の振興に関する大綱
 第3期埼玉県教育振興基本計画～2023年度
 「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」
 埼玉県教育行政重点施策

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 自立する力の育成
- 多様なニーズに対応した教育の推進
- 質の高い学校教育のための環境の充実

吉川市教育大綱
 「家族を 郷土を 愛し、
 志を立て 凛として生きてゆく」
 吉川市教育行政重点施策

- 生涯学習による人づくり・まちづくり
- 豊かな人間性を培う学校教育の充実
- 青少年健全育成の充実
- 家庭・地域・学校の連携
- 多彩で個性ある文化の創造と伝承

学校づくりの目標
 「子どもたちが夢や将来にチャレンジできる学校づくり」

学校教育目標

なかよく
 かしこく
 ねばりづよく

めざす学校像(ミッション)
 ○一人一人の心力・学力・体力をレベルアップする学校(わかる・できる楽しさ)
 ○保護者や地域の方々から愛される学校
 ○安心・安全できれいな学校

めざす児童像
 ○相手の気持ちや立場を考えて行動できる礼儀正しい子
 ○自ら学び、共に学び合う子
 ○健康意識が高く、進んで体を動かす子

○第4・5・6学年埼玉県学力学習状況調査 ○第6学年全国学力学習状況調査
 ○新体力テスト ○知能検査 ○学校評価、保護者アンケート ○生活アンケート
 ○教師の観察・評価等による実態把握と課題の明確化 ○なかよしアンケート

【経営方針】 子どもたちに夢・感動・生きがいを
 ～一人一人を大切にし、3つの力を伸ばす学校～

学力

継続は力なり

- 指導力の向上「授業改善」
 - ・ 授業規律の確立、鉛筆の持ち方 ※小中一貫
 - ・ 授業スタイルの確立 (課題、まとめ、習熟、板書計画、ノート指導、ICT活用)
 - ・ 基礎基本の徹底
 - ・ 学力テスト等の実施と実態把握、具体策の実施
 - ・ 言語活動(発表・話し合い：ペア学習、トリオ学習、グループ学習)を通じた思考力・判断力・表現力の育成
- 算数少人数指導の効果的な活用
 - ・ 児童の実態や教材の特性に応じた授業形態の工夫 少人数指導(6年)、TT(1～5年)、習熟度別
 - ・ 担任と少人数指導担当の連携による効果的な指導方法の研究(毎金)
- 校内研修による授業の質的向上と指導力の向上
 - ・ 市委嘱「確かな学力の推進」(令和元年度・2年度) 教科：外国語科・外国語活動
 - 『コミュニケーションを図る楽しさを知り、外国語を用いて進んで自分の考えや気持ちを表現できる子の育成』
 - ・ 朝の活動(木曜日：Eタイム)
 - ・ 担任、ALT(火曜日)、外国語加配教員との連携
- 読書活動の推進
 - ・ 計画的、積極的な学校図書館の活用
 - ・ 読み聞かせ、隙間読書、家庭読書の奨励
- 家庭教育の充実
 - ・ 学級活動等で、家庭学習の仕方指導。(目的を明確に)
 - ・ 家庭学習の量と質の向上(学年×10+10分の定着)
- 小中連携教育による9年間を見通した学習活動
 - ・ 相互授業参観
 - ・ 学習指導の徹底(学び部会)

目標：①TK式学力テスト 全学年、全国比 R1超え
 ②県学テ 県比 R1超え
 ③全学テ 全国比 R1超え

心力

一日二善

- 「一日二善」=2こころん(環境・人)
 - ・ 児童491名 職員49名「気づき・考え・実行する」自発的活動
 - ・ 「環境は人を創る」学習環境(掲示物、花の栽培、校内美化)
- 道徳科や学級活動における充実した授業の実践
 - ・ 道徳科の授業と全教育活動との関連性を意識した道徳教育
 - ・ 児童の実態や学校行事等に応じたタイムリーな指導
 - ・ 授業を振り返り、指導、改善 「学校は、人づくり」
- 生徒指導・教育相談の充実「いじめは絶対に許しません」
 - ・ いじめの根絶に向けた生徒指導体制の強化、組織的な対応
 - ・ 早期発見、早期対応、継続的指導(3か月の見守り支援)
 - ・ 生徒指導部会(成果・課題・方策の共有化)
 - ・ 不登校及び不登校傾向児童に対する指導・支援教育相談体制
 - ・ 関係機関との連携、情報共有(面で支える体制)
 - ・ よい子の約束効果の検証、指導改善(5月、1月調査)
 - ・ あいさつと感謝の気持ち「ありがとう」
- 生活目標の設定と全教員による講話
 - ・ 生活目標と指導・評価(課題解決に向け、本気で取り組む)
 - ・ 無言清掃(使う前より美しく)
- 学級経営力の向上
 - ・ 生活アンケート(学期に1回：効果の検証、経営の見直し)
 - ・ 発達段階に応じた郊外学習や社会体験活動
 - ・ よい子の約束効果の検証、指導改善(5月、1月調査)
 - ・ ハイパーQ-Uの活用
- 小中連携教育による9年間を見通した規律ある態度の育成
 - ・ 生活指導の徹底(育ち部会)

目標：①一日二善 全児童、全職員 毎日100%達成
 ②生活目標 全学級 毎日80% 学校賞!!
 ③生活アンケート 学校が楽しい 全学級90%以上

体力

努力は裏切らない

- 体力向上
 - ・ 新体力テストの結果分析による、課題克服の手立ての研究
 - ・ 一人一人の課題の明確化、課題解決策、長期的な取り組み(努力)
 - ・ 毎朝の業前運動の習慣化
 - ・ 業間、昼休み、ロング昼休み(木曜日：教師も一緒に)運動奨励
- 体育科における充実した授業の実践
 - ・ 技能、意欲を高める指導の工夫(認め合う授業づくり)
 - ・ 運動の生活化を促す学習内容
 - ・ 運動量の確保と運動好きな子どもの育成
 - ・ 年間指導計画の見直しと、授業改善
- 健康教育の推進
 - ・ 基本的生活習慣の確立『早寝・早起き・朝ごはん』朝うんち生活習慣シートを活用した生活習慣の見直し、改善(学期1回)
 - ・ 養護教諭を中心とした児童の健康対策、保健だよりの発行 衛生検査(毎月1日、15日)、歯ブラシチェック
 - ・ 腹筋、背筋を鍛え、姿勢を正しく
 - ・ 食育、給食指導、食への感謝「いただきます」「ごちそうさま」
- 体育的行事への積極的参加
 - ・ 運動会、持久走大会、縄跳び大会への積極的参加。
 - ・ 鉄棒教室(業間、昼休み：体育委員会児童)
- 学校安全教育
 - ・ 緊急地震速報を活用したショート避難訓練の実施(月に1回)
 - ・ 緊急対応マニュアルの見直し、確認、共有
- 小中連携教育による9年間を見通した体力の向上
 - ・ 授業規律(ハンドサイン)の共有化

目標：①新体力テストA+B+C 全学年90%超え
 ②衛生検査達成率 85%
 ③交通事故 「0」